

平成19年度 12月議会定例会報告

一般会計・補正予算

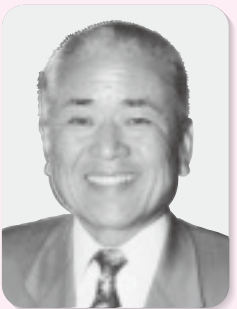
1億28,694千円減額 総額 56億7千579万円

- ① 和水町まちづくり総合計画基本構想案を全会一致採択
- ② 和水町小・中学校一貫教育に関する調査特別報告

平成19年12月定例議会は、12月14日から12月19日まで会期を6日間と定め開かれました。
今回の定例会は、諸般の報告・行政報告・所管事務調査報告があり、条例関係7件・一般会計補正予算関係1件・特別会計補正予算関係2件・その他案件(和水町まちづくり総合計画基本構想案1件・人事案件2件)が提案され、すべて原案どおり承認可決されました。
一般質問は2日間に亘り10名の議員が登壇し、町政を質しました。
又、小・中学校一貫教育に関する調査特別委員会の報告がありました。請願・陳情・要望書等5件については、採択3件・継続審査1件、文書配布1件を審議して、6日間の全会期を終了しました。

主要な条例制定	
○和水町長期継続契約を締結することができる 条例制定	
○和水町新築住宅及び新築賃貸住宅に対する、 固定資産税の減免条例が新設制定	
歳入補正の主なもの	
・ 地方交付税1億35、077千円増額になりました。	
・ 県委託金が8、792千円増額されました。	
・ 繰越金が31、609千円となりました。	
・ 国庫支出金が61、500千円減額されました。	
・ 県補助金1億40、130千円減額されました。	
歳出補正の主なもの	
〔総務費関係〕	
・ 合併推進体制補助金61、500千円減額	
・ 宅地造成・道路改良等設計測量委託2、000千円	
〔民生費関係〕	
・ 一時保育促進事業補助金123千円	
・ 軽度障害児保育補助金512千円	
・ 一部事務組合（衛生・清掃費）負担金2、003千円	
〔農林水産事業関係〕	
・ 経営構造対策事業費補助1億45、040千円減額	
特別会計	
○和水町国民健康保険事業会計補正予算3、364千円を追加し	
総額16億1、954千円	
病院事業会計繰出金（X線診断装置導入関係）	
○国民健康保険、和水町立病院事業会計補正	
・ 医業収益2、770千円増額	
・ 健康管理センター収益1、059千円減額	
・ 居宅介護支援事業収益2、171千円減額	
・ 医療機器等補助金3、147千円	
・ 企業債52、700千円を繰上償還して2億32、700千円に減額	
〔建設関係〕	
・ 県事業負担金5、000千円	
〔消防関係〕	
・ 常備消防負担金658千円	
・ 高速道路救急支援金838千円減額	
〔教育費関係〕	
・ 設計監理委託料・工事請負費（中央公民館空調工事費24、550千円減額	
・ 中山間地域等交付金355千円	
・ 中山間地域等交付金返還金933千円	
・ 農地・水・環境保全向上対策事業負担金426千円減額	
・ ガラス工房炉建設費7、875千円	
〔建設関係〕	
・ 県事業負担金5、000千円	
〔消防関係〕	
・ 常備消防負担金658千円	
・ 高速道路救急支援金838千円減額	
〔教育費関係〕	
・ 設計監理委託料・工事請負費（中央公民館空調工事費24、550千円減額	

迎春 年頭の挨拶



和水町議会議長

福山 精一

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、ご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は町議会に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
近年の我が国の経済情勢は、政府や経済界の努力にもかかわらず低迷が続け、それに伴い国からの交付税や補助金は低い伸びとなっています。また、一方では高齢化やライフスタイルの多様化によって地域の活力に少なからず影響を及ぼしております。
このような中、限られた財源で均衡の取れた町政を推進するため、議会といたしましては、町民の皆様が暮らしやすい町にすることにどんなことをしたらいいのか、そのための条例の改正及び制定、予算の検討などを行います。
日頃、町民の皆様がご利用されております道路や福祉施設、学校教育などの問題についても、議会で慎重に審議しまして、町民の皆様の付託に

応えるべく議会議員一同一生懸命努力しております。
町行政のあらゆる面での執行は、まず議会が最も重要な町行政の進路と舵取りの役目であり、最高議決機関でもあります。
町議会では、年4回定例議会をはじめ必要に応じての臨時議会が開催され、常に町民の声を尊重し、反映させながら明日に向かっての町づくり活性化に取り組んでおります。
また、「和水町議会だより」を発刊して、町民の皆様により詳しく議会活動状況を報告しております。これからも、きめ細かな施策を、町政の動向を的確に見極め、いかにしたら豊かで魅力ある和水町が実現できるか、真摯に考え最大限の努力をいたす所存であります。
どうか、本年も一層の温かいご理解とご支援、ご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様方のますますの発展とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



和水町議会副議長

森 恵子

2008年に新たな希望を託された方も多かったのではないのでしょうか。
最近の経済情勢、社会情勢を見ていますと、国民の安心な暮らしはだんだん遠のいていくように感じます。
税制改正による負担増をはじめ、各種手当ての引き下げや打ち切り、高齢者にとっては医療費や介護費等の抑制政策、働きたい人には就職難、子どもを育てたい人にとって子育て環境の不備など、大変難しい時代を迎えています。
和水町においては国政のありを受け、厳しい財政状況の中で、住民の方々の要望になるべく沿えるような努力はされていると思います。
和水町が誕生して2年になりますが、地方の時代と言われる今日、町執行部の真価が問われるのはこれからです。
当町にあつては、少子高齢化の傾向は著しく、学校児童生徒数の減少や、農業者の高齢化などが心配されています。
和水町の諸問題の解消、そして住民が安心して暮らしていけるような町づくりをめざし、和水町議会議員として、これからも一層努力を重ねていきたいと考えています。

